

# 第33回 県政に関する世論調査の結果について

平成19年4月12日  
総合企画部報道広報監  
電話 223-2265

県政に関する世論調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的として、昭和50年度から毎年実施している。

調査項目数の増加により、平成18年度から2回に分けて調査をしており、今回は2回目で、前回に引き続き郵送法で実施した。

具体的な内容としては、環境と生活についての県民の意識調査と県政の主要課題である健康づくり、繁華街・歓楽街の防犯対策と魅力ある街づくりに対する県民の要望・関心度について調査を行った。

## 1. 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県在住の満20歳以上の男女個人
- (2) 標本数 3,000人
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (4) 調査方法 郵送法（郵送配付－郵送回収）
- (5) 調査時期 平成18年11月16日～12月11日

## 2. 回収結果

回収数（率） 1,539（51.3%）

## 3. 調査の項目

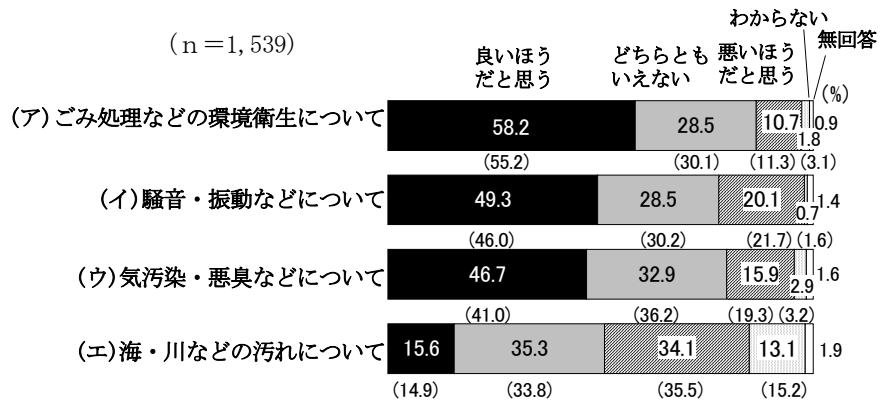
- (1) 県民意識調査  
環境と生活について
- (2) 県政の主要課題
  - ①健康づくりについて
  - ②繁華街・歓楽街の防犯対策と魅力ある街づくりについて

## 4. 調査の結果

### 1 環境と生活について

#### (1) 生活環境について

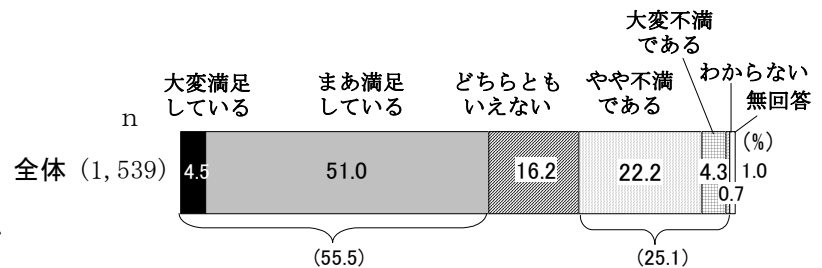
生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉(58.2%)で約6割となっている。以下、〈騒音・振動などについて〉(49.3%)で約5割、〈大気汚染・悪臭などについて〉(46.7%)で4割台半ばとなっている。一方で、〈海・川などの汚れについて〉は、「良いほうだと思う」(15.6%)が1割台半ばにとどまり、「悪いほうだと思う」(34.1%)が約19ポイント上回っている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成17年度の調査結果

#### (2) 生活環境全般の満足度

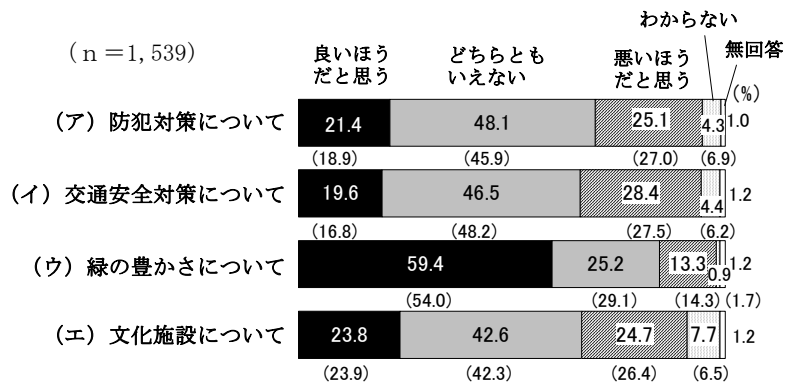
生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.5%)と「まあ満足している」(51.0%)を合わせた『満足している』(55.5%)は5割台半ばと多くなっている。一方、「やや不満である」(22.2%)と「大変不満である」(4.3%)を合わせた『不満である』(26.5%)は2割台半ばである。



注) 下段の ( ) 書きは、平成17年度の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「少し不満である」を合わせた『不満である』を示している。

### (3) 自然・周辺環境について

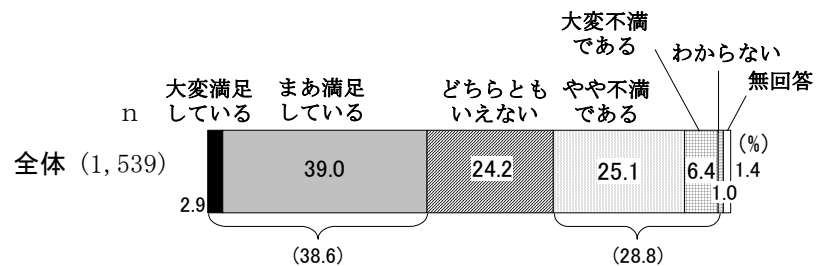
自然・周辺環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈緑の豊かさについて〉(59.4%)で約6割となっている。しかし、それ以外の3項目については、「良いほうだと思う」がいずれも2割前後であり、「悪いほうだと思う」よりも低くなっている。



注) 下段の ( ) 書きは、平成17年度の調査結果

### (4) 自然・周辺環境全般の満足度

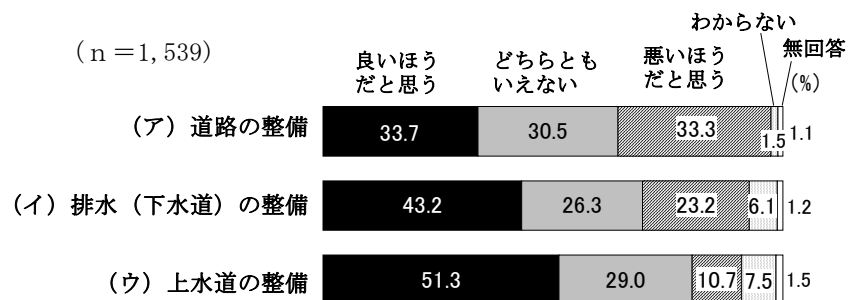
自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(2.9%)と「まあ満足している」(39.0%)を合わせた『満足している』(41.9%)は4割を超える。一方、「やや不満である」(25.1%)と「大変不満である」(6.4%)を合わせた『不満である』(31.5%)は3割を超える。



注) 下段の ( ) 書きは、平成17年度の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「少し不満である」を合わせた『不満である』を示している。

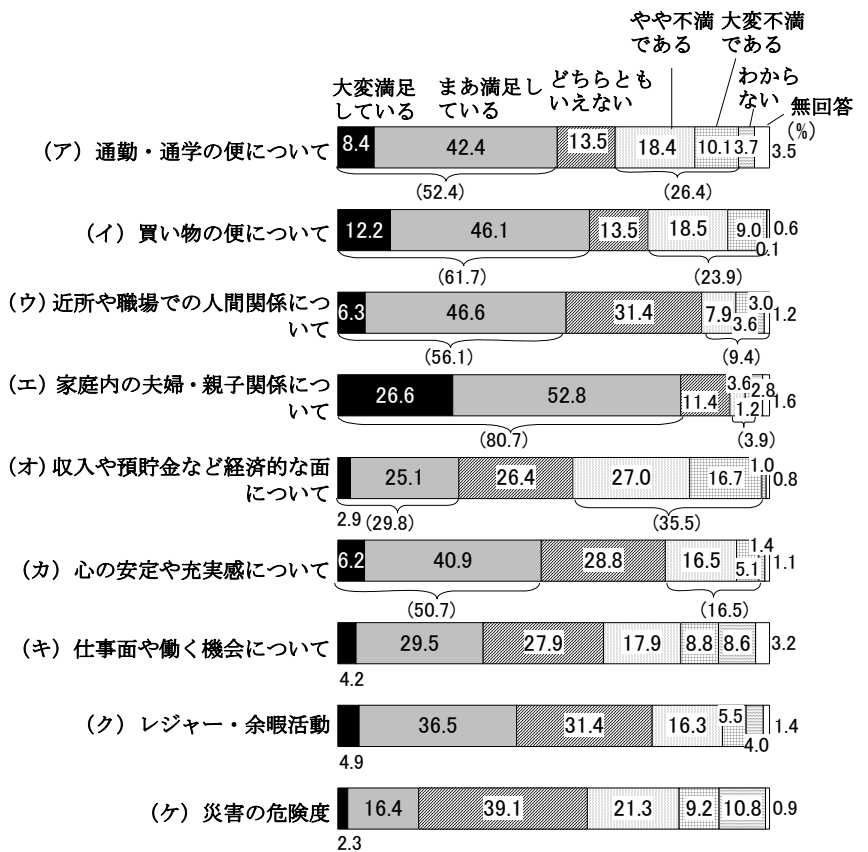
### (5) 基盤整備について

基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(51.3%)で5割を超える。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(43.2%)が4割台半ばとなっている。一方で、〈道路の整備〉については、「良いほうだと思う」(33.7%)と「悪いほうだと思う」(33.3%)が、それぞれ3割台半ばで並ぶ。



## (6) 現在の生活の満足度

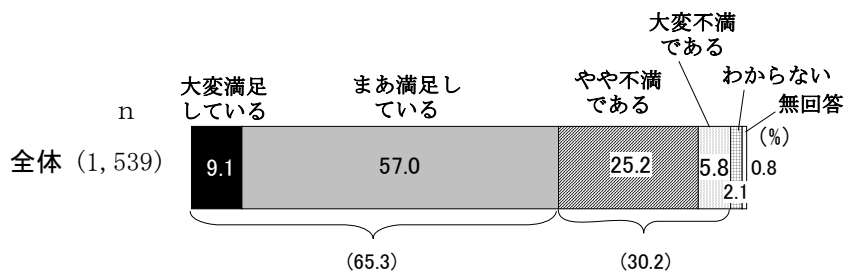
現在の生活に関する9つの項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(79.4%)で約8割となっている。以下、〈買い物の便について〉(58.3%)、〈近所や職場での人間関係について〉(52.9%)と続く。「やや不満である」と「大変不満である」を合わせて、『不満である』とすると、9項目中7項目で『満足している』が『不満である』より多い中、〈収入や預貯金など経済的な面について〉と〈災害の危険度〉は、『不満である』が上回っている。



注) (ア) から (カ) 下段の ( ) 書きは、平成 17 年度の同様の項目の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「少し不満である」を合わせた『不満である』を参考として示している。

## (7) 住宅の満足度

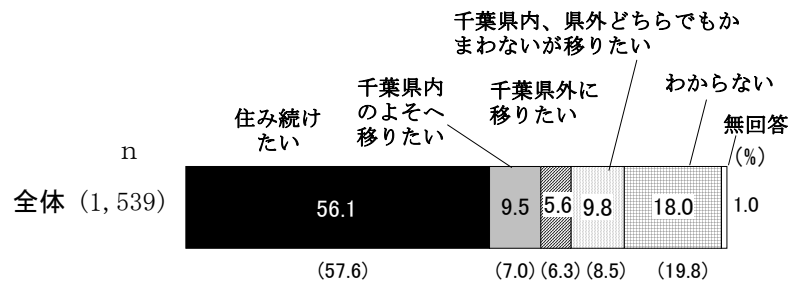
現在住んでいる住宅に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」(9.1%)と「まあ満足している」(57.0%)を合わせた『満足している』(66.1%)は6割台半ばと多くなっている。一方、「やや不満である」(25.2%)と「大変不満である」(5.8%)を合わせた『不満である』(31.0%)は約3割である。



注) 下段の ( ) 書きは、平成 17 年度の調査結果の「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』及び「大変不満である」と「少し不満である」を合わせた『不満である』を示している。

## (8) 今後の居住意向

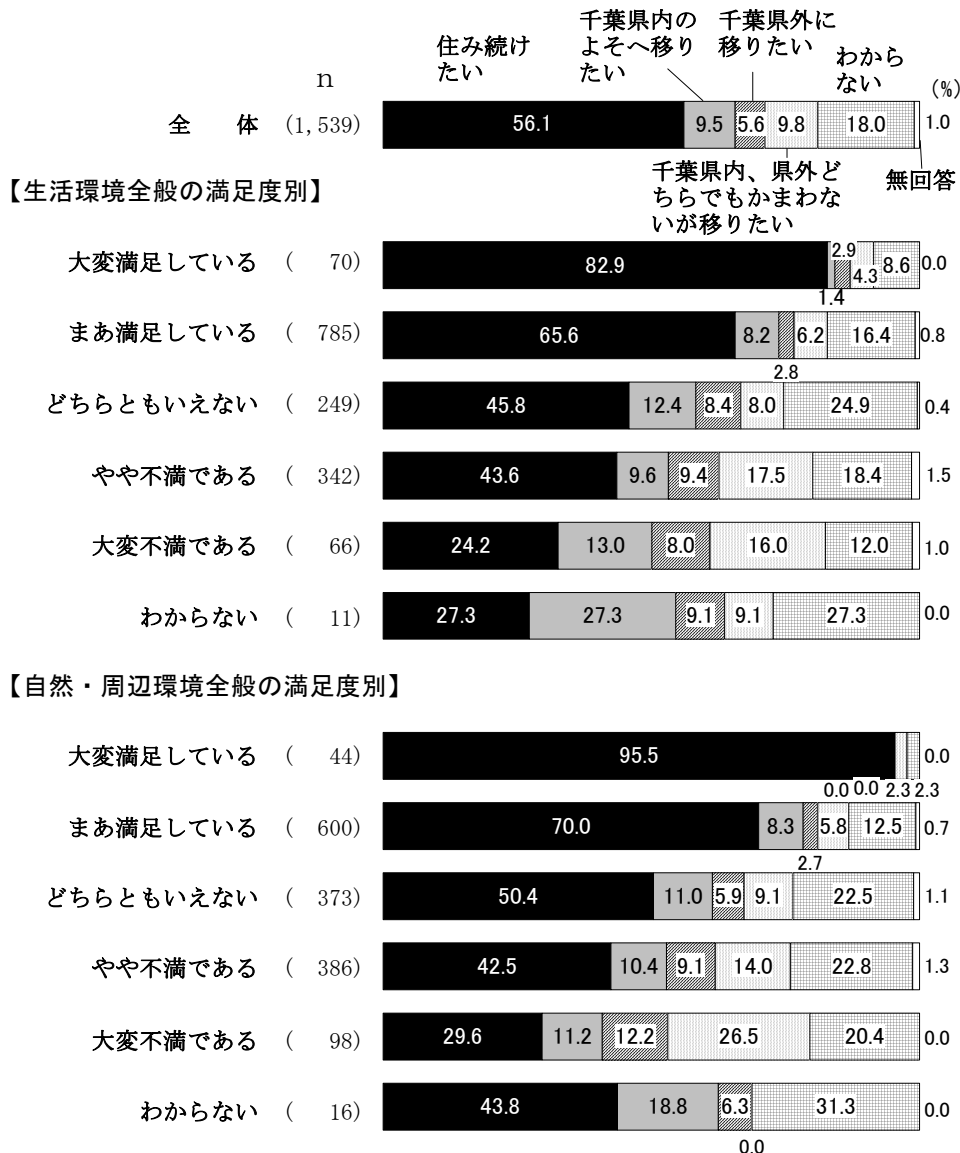
現在住んでいる地域での、今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(56.1%)が5割台半ばで多くなっている。一方で、「千葉県内のよそへ移りたい」(9.5%)、「千葉県以外に移りたい」(5.6%)、「千葉県内、県外のどちらでもかまわないが移りたい」(9.8%)を合わせると、『移りたい』(24.9%)は2割台半ばである。



注) 下段の ( ) 書きは、平成17年度の調査結果

### <今後の居住意向と各環境の満足度>

居住意向について、今回の調査における、(2)「生活環境全般の満足度」と(4)「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答は高くなっている。このことは、自然・周辺環境全般の満足度についても同様である。

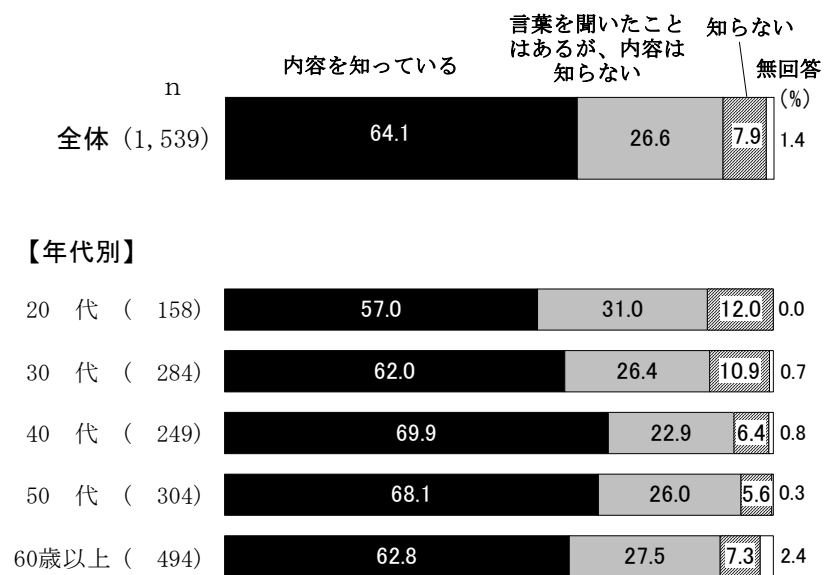


## 2 健康づくりについて

### (1) 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度

内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度を聞いたところ、「内容を知っている」（64.1%）が6割台半ばで最も多くなっている。次いで、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」（26.6%）が2割台半ばである。

年代別でみると、「内容を知っている」がいずれの年代も多くを占めるが、特に40代（69.9%）と50代（68.1%）は約7割と高くなっている。



### (2) 過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無

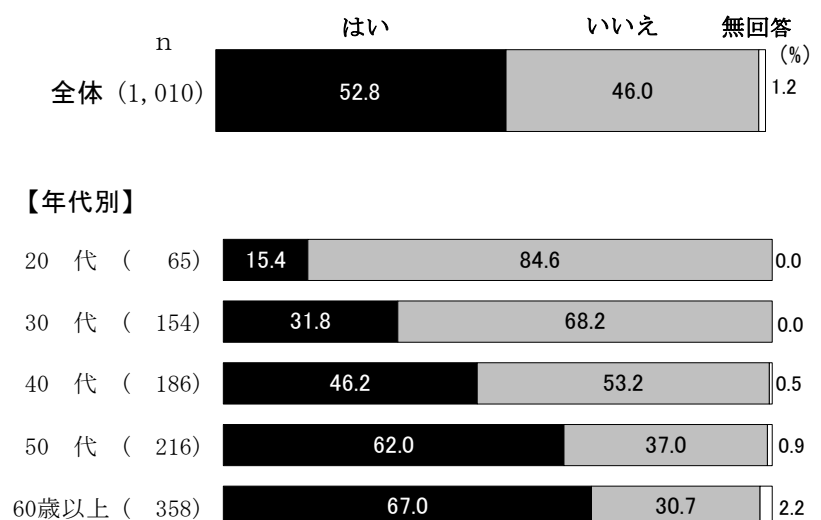
過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無を聞いたところ、「ある」（65.6%）が6割台半ばとなっており、「ない」（33.2%）よりも多くなっている。



### (3) 肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘

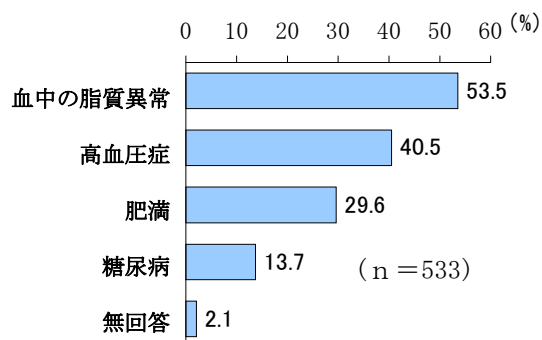
健診や人間ドッグを受診したことが「ある」と回答した1,010人を対象に、肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたか聞いたところ、「はい」（52.8%）が5割を超える。

年代別でみると、「はい」は年代が上がるほど増加しており、50代（62.0%）で6割を超え、60歳以上（67.0%）で約7割となっている。



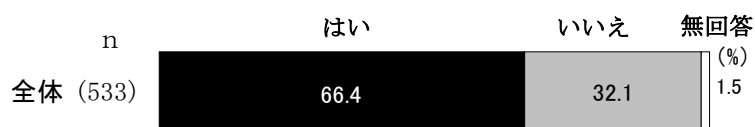
#### (4) 指摘を受けた内容

肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、指摘を受けた内容を聞いたところ、「血中の脂質異常（総コレステロール、LDL（悪玉コレステロール）や中性脂肪（トリグリセライド）が高い、または、HDL（善玉コレステロール）が低い）」（53.5%）が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「高血圧症（血圧が高い）」（40.5%）が4割、「肥満」（29.6%）が約3割となっている。



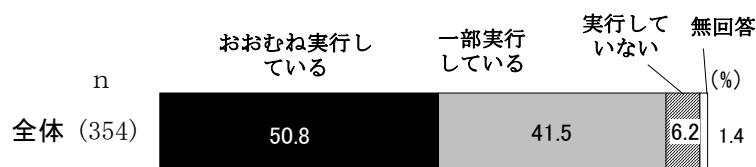
#### (5) 指導を受けたことについての保健指導の有無

肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、保健指導を受けたか聞いたところ、「はい」（66.4%）が6割台半ばと多くなっている。



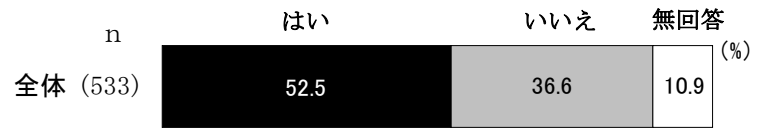
#### (6) 保健指導された内容についての実行度

保健指導を受けたことがあると回答した354人を対象に、保健指導された内容についての実行度を聞いたところ、「おおむね実行している」（50.8%）が5割と最も多く、「一部実行している」（41.5%）が4割を超える。これらを合わせると、『実行している』（92.3%）は9割を超える。



## (7) 医療機関の受診を勧められた経験の有無

肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、医療機関の受診を勧められた経験の有無を聞いたところ、「はい」(52.5%)が5割を超える。一方で、「いいえ」(36.6%)は3割台半ばである。



## (8) 医療機関の受診

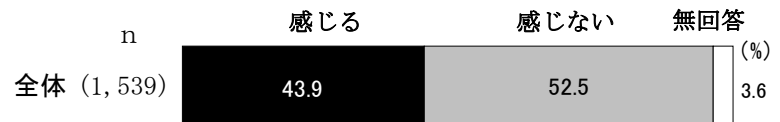
医療機関の受診を勧められたことがあると回答した280人を対象に、医療機関の受診を聞いたところ、「はい」(87.9%)は約9割となっている。



# 3 繁華街・歓楽街の防犯対策と魅力ある街づくりについて

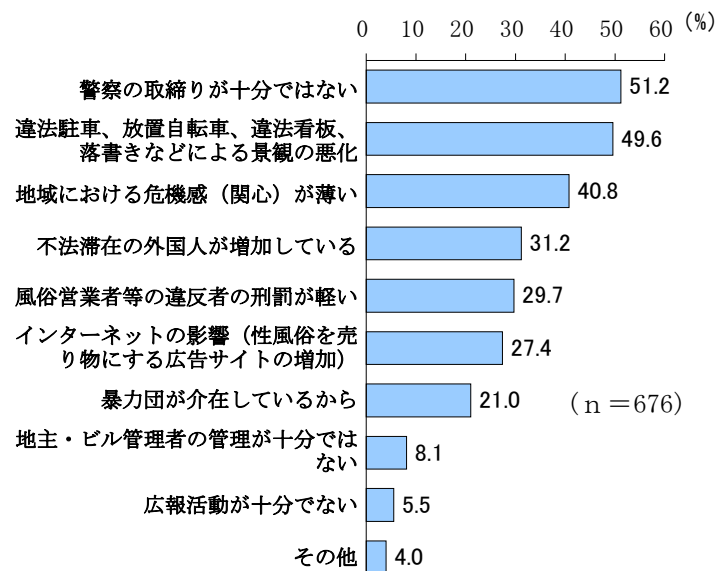
## (1) 繁華街・歓楽街の環境悪化の印象

繁華街・歓楽街の環境悪化の印象を聞いたところ、環境悪化を「感じる」(43.9%)が4割台半ばで、「感じない」(52.5%)が5割を超え多くなっている。



## (2) 繁華街・歓楽街の環境が悪化している要因

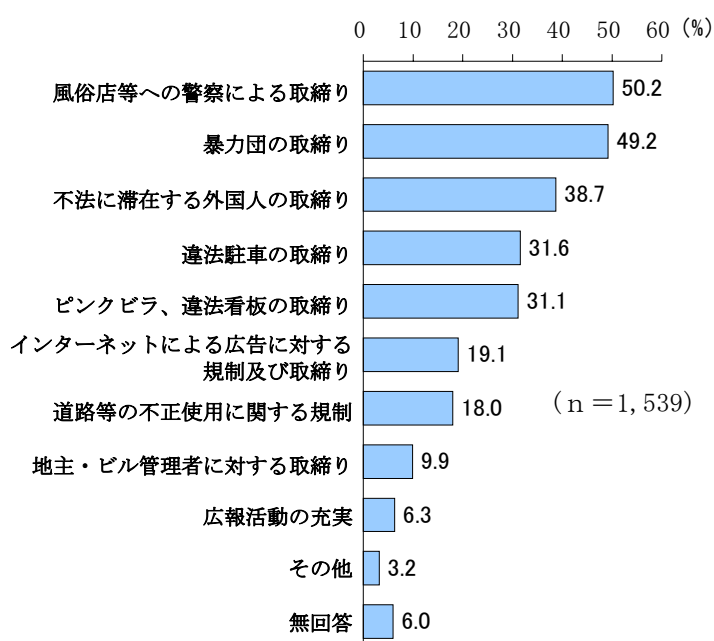
地域における繁華街・歓楽街の環境悪化を「感じる」と回答した676人を対象に、繁華街・歓楽街の環境が悪化している要因を聞いたところ、「警察の取締りが十分ではない」(51.2%)と「違法駐車、放置自転車、違法看板、落書きなどによる景観の悪化」(49.6%)が5割前後で高くなっている。次いで、「地域における危機感(関心)が薄い」(40.8%)と「不法滞在の外国人が増加している」(31.2%)と「風俗業者等の違反者の刑罰が軽い」(29.7%)と「インターネットの影響(性風俗を売り物にする広告サイトの増加)」(27.4%)と「暴力団が介在しているから」(21.0%)と「地主・ビル管理者の管理が十分ではない」(8.1%)と「広報活動が十分でない」(5.5%)と「その他」(4.0%)が4割である。





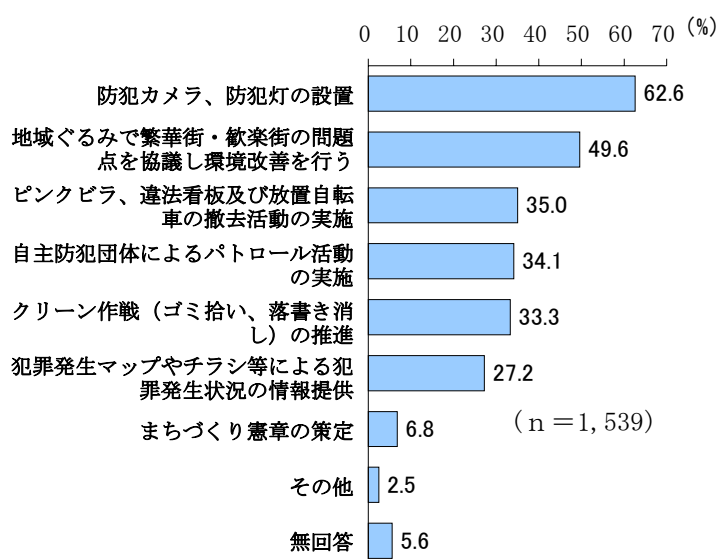
### (3) 繁華街・歓楽街の環境を良くするために警察がすべきこと

繁華街・歓楽街の環境を良くするために警察がすべきことを聞いたところ、「風俗店等への警察による取締り」(50.2%)と「暴力団の取締り」(49.2%)が5割前後で高くなっている。次いで、「不法に滞在する外国人の取締り」(38.7%)が約4割で、「違法駐車取締り」(31.6%)と「ピンクビラ、違法看板の取締り」(31.1%)が3割を超える。



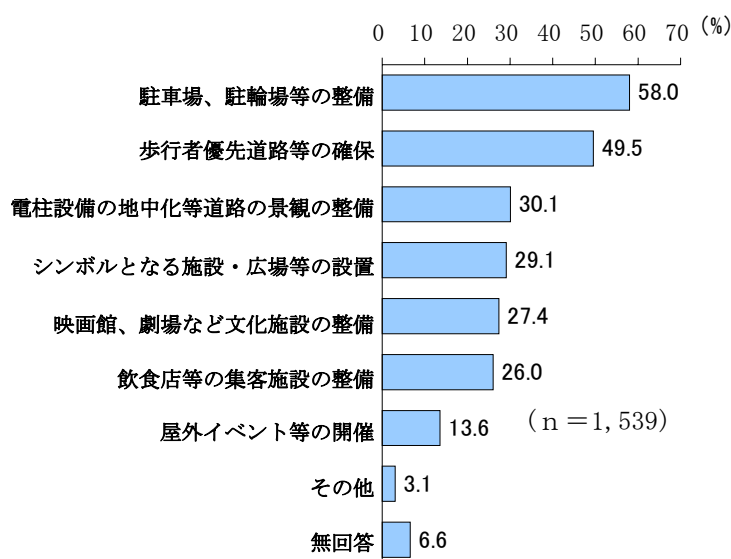
### (4) 繁華街・歓楽街の環境を良くするために必要な取組み

繁華街・歓楽街の環境を良くするために必要な取組みを聞いたところ、「防犯カメラ、防犯灯の設置」(62.6%)が6割を超え最も高く、次いで、「地域ぐるみで繁華街・歓楽街の問題点を協議し環境改善を行う」(49.6%)が約5割となっている。



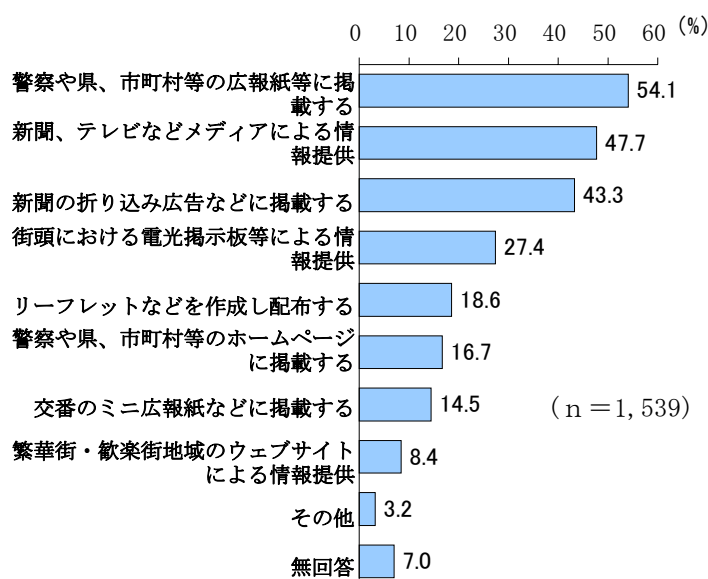
## (5) 繁華街・歓楽街を魅力ある街にするために必要なこと

繁華街・歓楽街を魅力ある街にするために必要なことを聞いたところ、「駐車場、駐輪場等の整備」(58.0%)が約6割で最も高く、次いで、「歩行者優先道路等の確保」(49.5%)が約5割となっている。



## (6) 警察などから各種情報を提供していくのに効果的な方法

警察などから各種情報を提供していくのに効果的な方法を聞いたところ、「警察や県、市町村等の広報紙等に掲載する」(54.1%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「新聞、テレビなどメディアによる情報提供」(47.7%)が約5割、「新聞の折り込み広告などに掲載する」(43.3%)が約4割台半ばとなっている。



### 【自由回答（抜粋）】

県への意見を自由に記述していただいたところ、486人から延べ832件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形（合計38項目）で整理した。

意見の多い項目に関して、一部抜粋してご意見を記載した。

## ■県政全般に対する要望

○千葉県は気候的には日本の中でも一番適しているのではないのでしょうか。海もあり、海産物は豊富、農作物もとれ、東京にも近い。しかし、何故色々な問題があるのでしょうか。子どもも老人も安心して住める所であってほしいです。まず環境を設備し、県民も人々もあらゆる事に意識を持たせる意識改革も必要ではないかと思えます。また、市、県の公務員はもっと意識改革をして頂きたいです（一生懸命の方もいらっしゃると思いますが…）。仕事をやらなければ辞めさせられると普通の会社で行なわれている緊張感が必要です。大変だと思えますが、宜しくお願ひいたします。（女性・40代・中央地域）

## ■道路を整備する

○道路の整備状況が悪く、幹線道路が常に渋滞しているため、早急に道路整備を進めてほしい。また、この際に歩道整備を進めてほしい。現状では安心して自転車に乗ることができない。（男性・40代・西地域）

## ■犯罪防止対策をすすめる

○住宅街に入ると街灯が少ない場所があります。夜になると暗くて、家までの帰り道がすごく恐く感じる場合があります。安心して夜でも道を歩けるように、もう少しだけでも街灯を増やして下さい。お願ひいたします。（女性・20代・西地域）

## ■便利な交通網を整備する

○駅にベビーカーでも行きやすいようにエレベーターを設置して欲しい。（女性・30代・中央地域）

## ■住んでいる市町村への要望

○私の家から駅まではたった5分くらいの距離で禁煙区域に指定されているのですが、朝、帰りに駅を往復するだけの間に、毎日4、5人は喫煙者に遭遇します。もっと徹底されるべきではないのでしょうか。（女性・20代・中央地域）

## ■県警への要望

○生活の安全・安心について守っていただきたいです。特に子供たちを取りまく環境が悪化しているように思えます。いじめや虐待はなくならないし、交通事故や変質者による子供の犠牲が多く、安心して子供を学校や職場に送り出せない毎日です。警察のパトロール等、強化していただきたい。（女性・60歳以上・中央地域）

## ■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

○少子化対策に力を入れてほしい。何でもよい、明るく元気な子供になることなら。（男性・60歳以上・西地域）

## ■県政情報の発信や活動のPRについて

○どこが県政の仕事で、どんな事だったら受け入れてくれるのかわからないことが多い。県はどこをやって、市はどこをやってと、わかるものがほしい。私が知らないのかも。多くの人に知ってもらおう事が県政に関心をもたせることにつながるのでは。受け皿がみえるようにして。（女性・50代・中央地域）

## ■高齢者の福祉を充実する

○認知症の母親を介護しているが、自分が認知症になった場合は、子供達に負担をかけたくないと云う思いが強い。最後まで面倒を見て貰える様なシステムが欲しいと思う。民間だけではなく、県と連携した安心出来る施設を作って最後まで面倒を見て欲しいと思う。（女性・60歳以上・南地域）

## ■医療サービス体制を整備する

○少子化が問題となっているが、その対策の取組方法が矛盾していると思う。毎年健康診断のお知らせハガキが来て、一般の検査は充実しているが、子供を出産するための大事な検査、婦人科系の医療機関がない。（女性・40代・西地域）